高知県立山田特別支援学校
田野分校

スクールバスの取組



令和7年２月２７日（木）　第７回室戸市統合中学校あり方検討委員会

山田特別支援学校田野分校



・知的障害特別支援学校

・小学部から高等部まで

田野分校の児童生徒は高知県の東部地域から登校してます

安芸市１１名

小学部２名
中学部２名
高等部７名

田野町３名

小学部１名

高等部２名

奈半利町４名

小学部１名
中学部２名
高等部１名

室戸市６名

小学部３名
中学部２名
高等部１名



児童生徒の登校方法



保護者の送迎



スクールバスで

田野分校のスクールバスコース

- 東部交通さんに委託
- 安芸コースと室戸コースの２コース
- もっとも遠方の停車場から乗車時間１時間程度

安芸コース
安芸駅～田野分校

室戸コース
佐喜浜～田野分校



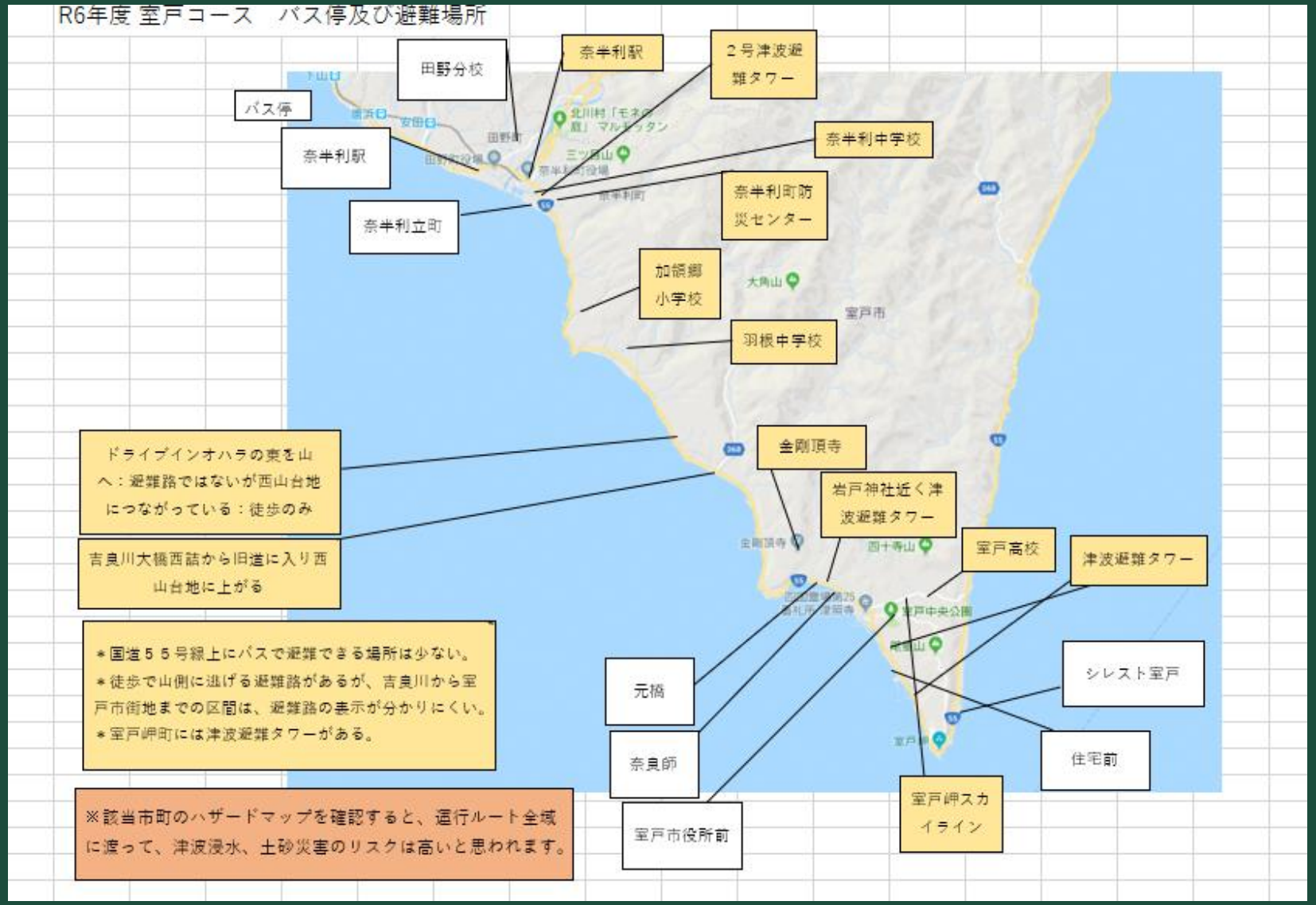
スクールバスの防災

- 避難場所の設定
- スクールバス避難訓練



R6年度 安芸コース　バス停及び避難場所





- 田野～室戸市街まで
  避難タワー　避難階段
  建物

- 高知大　岡村教授に
  実際試乗　助言

- 室戸～佐喜浜未設定
  課題

スクールバス避難訓練

- 年に１回
- 被災想定→バス避難所へ移動
- 室戸バス→奈半利駅
  安芸バス→安田高台



介助員さんと運転手さんの主導で避難行動ができるように

室戸バス

※室戸バスは下校便で避難訓練を行う。

① １４：３０発のバスに教員乗車。

② 奈半利駅手前の、信号（交差点）で緊急地震速報を鳴らす。
児童生徒は頭を守る姿勢をとる。

③ 奈半利駅に入り、バスの停車場所で停車。
揺れが収まった後、介助さんが児童生徒の安全確認をする。

④ 奈半利駅のホームに階段を使って避難。（移動）

・先頭には大人が行き避難方向を指揮する。

・自力で移動できる児童生徒は速やかに避難をする。

・[redacted]さんは[redacted]さんの手を引いて上がる。（事前に[redacted]さんと[redacted]さんには伝えておく。）

・介助さんか運転士さんが、ななこさんを対応する。

⑤ 介助さんが学校に安否確認の電話をする。

⑥ 教頭先生がすぐーるで保護者に情報共有をする。

⑦ 通常通り下校する。



高等部の生徒が小学部や中学部の児童生徒の避難行動を支援する









介助員さんと運転手さんの主導で
避難行動ができるように

スクールバス地震発生時対応カード

山田特別支援学校田野分校

①地震発生　運転手・介助員

- ○バスを安全な場所に停車する。
- ○児童生徒を励ましながら、身を守る行動をするように声をかける。
- 「じしんがきます。前の座席につかまって小さくなってください。頭もまもってください。ゆれがおさまっても動かずにまってください。」

②地震がおさまったら　運転手・介助員

- ○バスを停車させ、児童生徒の安否や健康状態、道路や周りの状況を確認。（バスの故障状況　ラジオをつけて情報収集　交通状況確認）
- ○運転手・介助で相談して以下を判断して学校へ連絡する。
    - １）最寄りの避難所に移動します
    - ２）安全な高台に移動します
    - ３）移動せずバス内に待機します
    - ４）学校へ帰校します。

【学校（教頭または事務長）に電話】

運転手・介助員　　☎学校０８８７（３８）８８５０

📱（教頭）〇〇〇－〇〇〇〇－〇〇〇〇

- 「〇〇便です。現在の停車場所にいます。
- 児童生徒の健康状態・けがの状態です。周りの状
- 況を確認して、最寄りの避難場所に移動します。

③バスを降りる準備をする

運転手

- ○児童生徒を励ましながらバスを降りる準備をする。
- ○バスを降りて、外の状況周りの状況を確認する。

介助員

- ○周囲の人に救助を呼び掛ける。
- 「田野分校のスクールバスです。バスの中に　子どもたちが　待機しています。どなたか　救助をお願いします。」

【周囲の人に救助を呼び掛ける】

- 「田野分校のスクールバスです。バスの中に　子どもたちが待機しています。どなたか救助をお願いします。」

④避難開始

運転手

- ○バスを降りて、外の状況周りの状況を確認しながら、危険がないか　確認する。
- ○降りてくる児童生徒や市民に　避難場所を伝える。

介助員

- ○集まった協力者を　バスの中に呼び込む。
- ○介助を頼む児童生徒について　名札を渡しながら、配慮事項を市民に伝え、避難するよう　指示する。

【協力者をバスの中に呼び込む】

- 「みなさん、バスの中に入ってください。中には、一人でバスから降りることができない子どもや今の状況を怖がって、バスから降りても落ち着かない子供もいますので、降りてからも見守りをお願いします。」
- 【児童生徒へ】
- 『みなさん、今からバスの外へ避難します。落ちついて　ゆっくり降りてください』

⑤避難完了

運転手・介助員

- ○最後に降りた児童生徒の後ろから　声をかけながら避難する。
- ○待機場所で全員が安全に避難できているか　確認する。
- ○学校へ避難状況を報告する。

【学校（教頭または事務長）に電話】

運転手・介助員　　☎学校０８８７（３８）８８５０

📱（教頭）〇〇〇－〇〇〇〇－〇〇〇〇

- 「〇〇便です。〇〇へ移動し、全員安全に避難することができています。
- 児童生徒の健康状態・けがの状態です。」

スクールバス避難訓練

課題

・室戸～佐喜浜間の避難

・介助員、運転手の避難行動の習熟

→避難訓練

→児童生徒の実態把握共有

→連絡方法の工夫

